

高裁なごや (High Court Nagoya) Vol. 2

平成17年4月1日発行
名古屋高等裁判所事務局総務課
電話 052-203-1611(代表)
名古屋高等裁判所ホームページ
<http://www.courts.go.jp/nagoya-h/>

長官就任にあたって



東京生まれの東京育ちで、落語のような下町言葉で育ったせいも、名古屋弁の独特の発音や言い回しには親しみを持っています。

さて、裁判所は、改革の波に洗われており、裁判員制度を始めとした万般にわたって制度の改革が続いています。その結果、司法がより国民の皆さんに分かりやすく身近なものとなるかが問われています。

名古屋高等裁判所長官という役割を仰せつかった者として、微力ながら、最善を尽くしたいと考えております。

名古屋高等裁判所長官 中込秀樹

もくじ

本号の内容は、次のとおりです。

- 1 学校へ行こう！
～裁判官，小学校へ行く～
- 2 裁判員って？
「あなたの感覚を裁判に」
- 3 ほっと・あんぐる
少年事件編
- 4 裁判所へ行こう！
～裁判を傍聴しませんか～



裁判員制度が約4年以内にスタートされるのを控え、広報誌「高裁なごや」が裁判に対する皆さんの理解の一助になればと思っております。

本号に対するご意見は
こちらにどうぞ

〒460-8503 名古屋市中区三の丸1-4-1
名古屋高等裁判所事務局総務課

1 学校へ行こう！ ～裁判官，小学校へ行く～

名古屋地方裁判所では，裁判官が小学校へ行き，刑事裁判手続の説明をした後に，6年生に簡易な模擬裁判を演じていただく「なごや出張裁判所」を実施しております。1月19日には，民事第8部の渡辺裁判官と内藤裁判官が名古屋市立春岡小学校へ行きました。今回は，児童らと交流する一コマをご紹介します。



「なごや出張裁判所」は，小中学生を対象に，刑事事件の簡易な模擬裁判をシナリオに基づいて実施してもらい，刑事裁判の手続を理解してもらうとともに，同行する裁判官と懇談してもらうことにより，裁判所に対して理解を深めてもらおうというものです。

（実施内容）

- 1 裁判所の制度及び法廷の説明
- 2 刑事裁判手続についての説明
- 3 模擬裁判
- 4 質疑応答，アンケート作成

（希望により，広報用ビデオの上映）

（場所）

小中学校の教室又は体育館など
模擬法廷は学校の児童・生徒の机などを用いて設置をお願いしています。

裁判官，好きな食べ物は何ですか？

裁判官 それでは，模擬裁判も終わったということで，質問を受けたいと思います。質問がある人はいますか？

児童 好きな食べ物は何ですか？
（教室で爆笑！）

裁判官 ええっと，ラーメンが好きです。あと，うなぎも美味しいですね。昼は，数百円の弁当を注文しています。

児童 裁判官は，同窓会や，パーティーとかに出席はされるのですか？

裁判官 もちろん，出席します。おそらく，この学校の先生たちよりも，飲み歩いています。スーパーに買い物もいきますし，満員電車で通勤もしています。ごく普通の生活を送っています。

（中略）



いよいよ裁判の質問が出る！

児童 法服はなぜ黒いのですか。

裁判官 とても良い質問ですね。誰か、分かる人はいますか？

児童 公平な裁判官は、何色にも染まらないということを実証して、何色にも染まらない黒が法服の色となっています。

裁判官 おおー！（仕事を小学生に取られてしまった。）

（困っているのをみかねて...）

先生 裁判をするときに、木槌をとんとんとするのはなぜですか。

裁判官 日本の裁判所に木槌はありませんし、使いません。テレビなどで木槌を裁判官が使用するシーンを拝見しますが、それが日本であれば、間違いです。

児童 おおー！（ここでやっとペースを取り戻す）。

（後略）

というように、時間が過ぎていくにつれ、児童からの質問も増えていき、裁判官は、小学生に圧倒されておりました。こういう企画を通じて多少なりとも裁判所・裁判官を身近に感じてもらえたかなと思います。



法服もばっちり！
裁判官に着せてもらいました。



教室での模擬裁判風景

「大人になったら、裁判員として、本物の裁判に参加してみたい！」との声も...

その他の広報行事

裁判所見学

空き法廷の見学・裁判員制度をはじめとした裁判所や法廷についての説明・広報用ビデオの上映、裁判の傍聴等、なお、模擬裁判もできますよ。

また、夏休みを利用した「親子で模擬裁判をしてみよう！」が、大変好評であり、今年もそれに負けない夏休み企画を検討中です。

なお、広報行事についての詳細は名古屋地方裁判所のホームページをご覧ください。

<http://www.courts.go.jp/nagoya/>

また、そのほかの裁判所でも、さまざまな広報行事を開催しています。詳しくは、最寄りの裁判所までお尋ねいただくか、ホームページをご覧ください。

2 裁判員って？

ある日、あなたに裁判所から書面が届きました。それには、「あなたは、この度、裁判員候補者に選定されました。」と書かれています。

「えっ...裁判員？前に新聞に出ていたやつか。法律なんて難しそうだし、いやだな...。」

そんなふうに思わないでください。この制度は、法律の専門家ではないあなたの感覚を裁判の内容に反映させ、裁判に対する国民の理解や信頼を深めるといっても重要な意義があるものです。あなた自身にとっても必ず得がたい体験となるはずです。

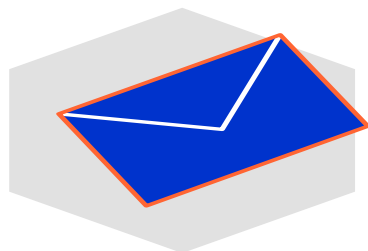
それでは裁判員はどうやって選ばれるのか、裁判員の参加する刑事裁判の流れとともに、順を追ってご紹介しましょう。

みなさんが裁判員に選ばれるまで

裁判員候補者名簿

年に1度、衆議院選挙の選挙人名簿の中から、くじにより、裁判員の候補者が選ばれ、裁判員候補者名簿に登載されます。この名簿に登載された人には裁判所から通知があります。

この通知は、裁判員に選ばれるかもしれないというお知らせですので、この時点で裁判所に来ていただく必要はありません。

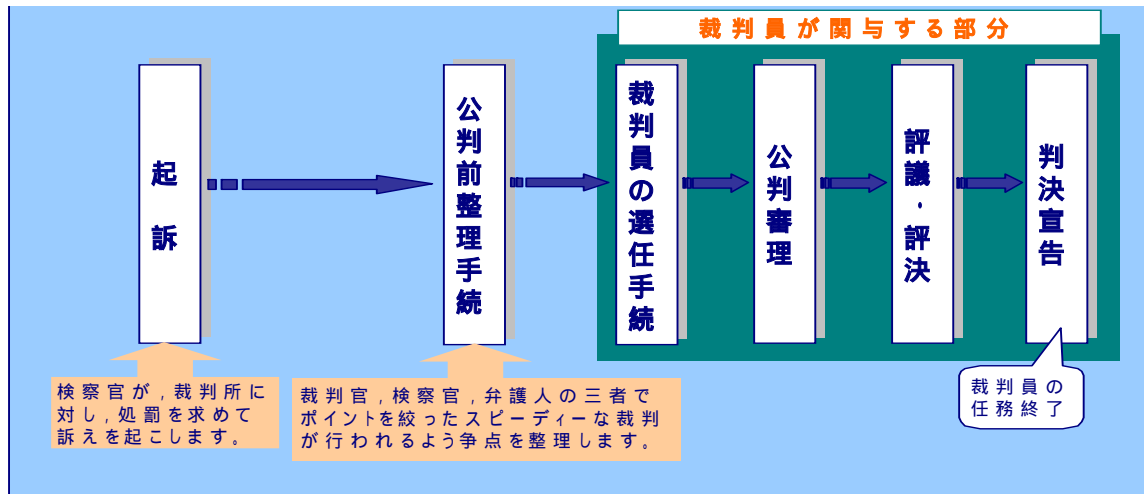


裁判所での選任手続

裁判の日程が決まると、その事件の裁判員の候補者が、裁判員候補者名簿の中から2回目のくじによって選ばれます。そして、呼び出し状という書面が送られてきて、指定された日に裁判所に来ていただくこととなります。

当日は、裁判長から、裁判員になれない理由がないかどうか、辞退希望がある場合はその理由などについて質問されます。裁判員になれない理由のある人や辞退が認められた人は候補者から除外されます。また、検察官や弁護人は、双方とも、法律で決められた人数の範囲内で候補者から除外されるべき人を指名することができます。指名された人は候補者から除外されます。除外されなかった候補者から、裁判員が選ばれます。

- 裁判員の参加する刑事裁判の流れ -



裁判員の参加する裁判用のモデル法廷（最高裁判所において検討中の一案です。）

あなたの感覚を裁判に（裁判員制度実施まであと4年）

NHK特番「司法大改革 あなたは人を裁けますか」のドラマをご覧になりましたか。ホームレスの人がコンビニのご隠居をバットで殴って死なせたとして起訴された事件。三浦友和演じる商社の部長が、就職浪人、元電車運転手らとともに、裁判員として、審理に臨みます。被害者を死なせたことは認めるものの、なぜそうなったのかを語ろうとしない被告人。ドラマは、まさにドラマチックに展開し、意外な真相が。そして、執行猶予（すぐに刑務所に入れずに社会内で立ち直れるのかを見守る制度）を付けるかどうか白熱する議論。

裁判なんか難しくて、裁判員などとても無理と思っていたあなた、どう感じましたか。裁判員らは、それぞれの経験や悩みを通して、被告人の心境、遺族の怒り、被告人の妻らの思いを推しはかり、一人の人間として抱く素朴な心情を交えて、意見を述べ合い、それが事件の実体を浮かび上がらせていきます。裁判員に期待されるのは、このような、市民としてのごく普通の感覚。決して難しくはありません。それが、4年後に始まる裁判員制度です。



名古屋高等裁判所刑事第2部裁判官 村田健二



『少年事件』とか『非行』って聞くとなんだか怖いことのような気がしますよね。しかし、少年一人一人に会って話をしてみると、驚くほど普通の人が多い気がします。また、非行に走った少年が、調査や審判を経て自らの人生を振り返り、周りの人や家族の気持ちに触れて、このままではいけないと思って一生懸命に立ち直ろうとしている姿を見ると、この仕事をやって良かったと思います（談）。

名古屋家庭裁判所少年部裁判官 大久保香織

今回は、少年事件（20歳未満の非行少年、つまり、罪を犯した少年や罪を犯すおそれのある少年などの事件）について、説明させていただきます。

Q 「少年事件」があるということは、「少女事件」もあるのですか？

A ありません。「少年事件」の少年とは、男子・女子両方を指します。

Q 家庭裁判所が扱う少年事件には、どんな事件があるのですか？

A 家庭裁判所が扱う事件の大部分は、罪を犯した14歳以上20歳未満の少年（犯罪少年）の事件です。そのほか、14歳に満たない者で刑罰法令に触れる行為をした少年（触法少年）や罪を犯すおそれがある少年（ぐ犯少年）の事件なども取り扱います。

なお、ぐ犯少年も対象とするのは、非行少年を早期に発見し、少年に適切な保護を与え、少年の健全な育成を図るとともに、犯罪を未然に防止しようとするためです。

Q なぜ、少年事件の審判は公開されていないのですか？

A 成人の刑事裁判とは違って、少年審判が非公開とされているのは、少年や家族の秘密を守るとともに、人格的に未成熟で傷つきやすい少年の情操を保護し、その立ちなおりを容易にさせようという配慮によるものです。

なお、少年審判は、「懇切を旨として、和やかに」行うことになっており、これも刑事裁判と大きく異なっています。

ただし、「少年に対し自己の非行についての内省を促すものとしなければならない。」とも定められており、少年の更生を願って、相応の厳しさもある雰囲気の中で行われています。



少年事件の審理が行われる審判廷

Q 少年事件はどのように審理されるのですか？

A まず、裁判官は家庭裁判所調査官に調査を命じます。この調査は、少年の性格、日ごろの行動、生育歴、環境などについて、心理学、社会学、教育学などの専門的知識を活用して行います。

調査の方法としては、少年や保護者、その他の関係者から話を聞いたり、心理テストを行ったりするほか、家庭裁判所調査官が少年の家や学校などに出向いて状況を見てくることもあります。

調査の結果、裁判官が刑事事件でいう「裁判」に当たる「審判」を開く必要があると判断した場合は、審判期日が開かれます。



心理テスト(模擬)

Q 少年に対しては、どのような処分があるのですか。

A 審判では、少年が本当に非行を犯したかどうかを確認した上、少年が再び非行を犯さないで人間的に成長するにはどのような手当てが必要かということ十分に考えて、保護観察処分や少年院送致といった最終的な処分を決めます。

Q 被害者は、少年審判の結果を知ることができるのですか？

A 被害者等が申出を行うことにより、家庭裁判所から少年審判の結果を通知してもらう制度があります。

なお、このほかに、被害者への配慮をするため、事件記録の閲覧・コピー、事件（被害に関する心情など）に関する意見陳述の制度が導入されています。

Q 家庭裁判所の処分を受けて、真面目になった少年はいるのですか？



A もちろん！裁判官をはじめ家庭裁判所の職員は皆それを願って仕事をしています。家庭裁判所の職員や、少年事件に関わる機関、少年の保護者、地域等の多くの人たちが協力しあって、少年のことを一生懸命考え、援助、指導しています。

少年に被害者の立場になって考えさせたり、社会奉仕活動に参加させることなどもしています。

4 裁判所へ行こう！～裁判を傍聴しませんか～

裁判や裁判所について関心を持っていただいたら、実際に裁判所へいらして裁判を傍聴しませんか？あなた自身にとっても必ず得がたい体験となるはずです。



裁判の傍聴には、裁判の公正を確保するために、適正に審理がなされているかを見守っていただく役割があります。いわば、法律の専門家ではないあなたの感覚を裁判の内容に反映させ、裁判に対する国民の理解や信頼を深めるということも重要な意義がある裁判員制度に通じるものなのです。

Q 裁判を傍聴したいのですが、事前申込みなどの手続が必要でしょうか？



事前申込みなどの特別な手続は必要ありません。

公開の法廷で行われる裁判は、原則として、だれでも傍聴することができますので、どの法廷でも自由にお入りいただいて結構です。ただし、傍聴希望者が大勢いる事件では、傍聴券が必要な場合があります。

なお、法廷の入口には、裁判の予定表（開廷表）が掲示されていますので、参考にしてください。

Q 裁判を傍聴するときに、何か注意することはありますか。

法廷の入口付近にこんな注意事項が掲示されていますので、ご覧ください。



本誌は再生紙を使用しています。